

令和2年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	6-	4
事業名	塵芥処理経費	
会計	款	項
一般	4	2
目	1	
施策	4 快適なまち	課名 環境防災課
	4-1 環境と共生するまちをつくる	係名 環境資源係
	4-1-1 循環型社会の形成	
主要施策	①ごみ収集・処理体制の充実	②ごみ減量化の啓発と推進
	③3R運動の促進	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	ごみの適正排出、分別の徹底を行い効率的で衛生的なごみ収集を行う。
事業内容	広域的な処理体制のもと、ごみの適正排出、分別の徹底を行い関係法令に即した効率的で衛生的な分別収集体制の中で、委託業者により一般家庭から排出される、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチックごみを収集する。 また、粗大ごみについては、各学校区別に年4回の搬入日を指定し、個人が家具・布団類・金属・小型家電等回収場所の分類に分けた搬入を行ない、町で処分する。 不法投棄については、啓発車両でのパトロールを行いながら、不法投棄されたごみを発見したら回収し処分を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
指標	1	ごみ収集量	4,501	4,601	4,583	t	↓	4,447	
	2	粗大ごみ処理量	393	343	459	t	↓	328	
	3	不法投棄件数	72	77	67	件	↓		
	4								
	5								
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			392,923		262,555		275,535		
財源内訳	直接事業費 A			391,999		261,631		272,763	
	うち一般財源			368,545		239,792		235,565	
人件費 (千円) B			924		924		2,772		
内訳	一般職員 (人・千円)			0.14		924		0.42	
	臨時職員 (人・千円)			0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	令和2年度に塵芥収集車を2台購入し、収集業務が滞りなく行えるようにする。	③取組の課題	ごみ収集業務が滞りなく行うことができるよう、車両の整備が必要。集積所設置補助金は廃止すると在来地区も戸別回収の声が上がる可能性がある。
②R2年度に実施した取り組み	ごみ集積所の整備 6自治会 塵芥収集車購入 (新規2台)	④今後の改善計画	令和3年度に塵芥収集車2台の追加購入を行い、収集業務が滞りなく行えるようにする。